

研究プロジェクト報告

研究プロジェクト1：「日体大とオリンピック・パラリンピック」 ：成果報告（2021年度～2022年度）

依田 充代（スポーツマネジメント学部／体育スポーツ科学系）

1. 「東京2020オリンピック・パラリンピ アンの記録」報告

担当：福井元，齋藤雅英，依田充代，松浪登久馬，
松本彰之，富田幸祐

（1）研究プロジェクトの概要

このプロジェクトは，2021年7月から9月にかけて開催された，東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に出場した日本体育大学・同大学院に関係する選手に，インタビューや原稿依頼を行い，オリンピックレガシーの構築を目的としている。

オリンピック・パラリンピアンに対するインタビュー項目（原稿依頼）は，以下の通りである。

- 1) 経歴
- 2) 競技歴
- 3) 競技との出会い
- 4) 日体大での思い出（入学の経緯や入学後の感想）
- 5) オリンピック・パラリンピックの感想
- 6) 今後の人生（今後の目標）
- 7) 後輩へ一言（日体大生へ一言）

なお，昨年度は以下の5名に対する原稿依頼を行い，本号に掲載予定となっている。

①遠藤大由氏への原稿依頼

担当教員：齋藤雅英

②工藤恭子氏への原稿依頼

担当教員：福井元，依田充代

③坂井丞氏への原稿依頼

担当教員：齋藤雅英

④兎澤朋美氏への原稿依頼

担当教員：松本彰之

⑤橋田舞子氏への原稿依頼

担当教員：福井元，依田充代

⑥早川漣氏への原稿依頼

担当教員：齋藤雅英

本プロジェクトは2016年度からスタートしたが，インタビューや原稿依頼を行えていない日本体育大学に関係するオリンピック・パラリンピアンは多く存在している。今後も継続的にインタビューや原稿依頼を行い，全てのオリンピック・パラリンピアンへの軌跡を記録するために，尽力していきたい。

2. 「オリンピックレガシーの検証」報告

担当：依田 充代・齋藤雅英・波多腰克晃

本プロジェクトは，東京2020オリンピック・パラリンピック競技会にむけて，日本体育大学生と一般大学生がどのようなオリンピック・パラリンピック教育を受けてきたのかを明らかにするとともに，こうしたオリンピック・パラリンピック教育のレガシーがどのように認識されているのかを検証するものである。

調査は2021年12月～2022年1月に実施され，

日本体育大学の学生 277 名の回答を得た。また、全国調査は 2022 年 1 月に実施され、全国の 18 歳～22 歳の 1200 人を対象に実施した。

調査の結果について分析を行っており、今後はそれらをまとめて投稿する予定である。

3. 主な発表論文等

オリンピック・パラリンピアン の原稿は、「オリンピックスポーツ文化研究」第 8 号に投稿した。また、オリンピックレガシーの検証について

は、次年度のオリンピックスポーツ文化研究」第 9 号に投稿する予定である。

4. 研究組織（プロジェクトメンバー）

研究代表者：依田 充代

研究者：齋藤 雅英, 波多腰 克晃, 福井 元,
松浪 登久馬, 松本 彰之, 富田 幸
祐 (2022 年 9 月まで)

(受理日：2023 年 3 月 31 日)